

## 一ディオ実験室収載

### STAGE+を楽しむ(275)(HP 収載) —モーツアルトのオペラ 《魔笛》—

#### 1. 始めに

前報(274)に引き続き、STAGE+のモーツアルトのオペラ 《魔笛》の演奏の試聴を実施します。

#### 2. 試聴音源

今回は、STAGE+のモーツアルトのオペラ 《魔笛》演奏を選びました。

収録日: 2019年8月4日

モーツアルトのオペラ 《魔笛》は、1791年の初演から人気を得、現在も世界中で親しまれています。イギリスの有名なオペラ・フェスティバルであるグラインドボーン音楽祭での上演を収めたこの映像は、カナダのバルブ&ドゥゼーによる斬新な演出で話題になりました。舞台の時代設定は20世紀初めの老舗ホテル。パペットも使われています。名匠ウィグルワースの指揮と古楽のスペシャリストが集うエイジ・オブ・インライトウメント管弦楽団の演奏にも注目です。

ソリスト:

Aidan Oliver(トレブル)、デイヴィッド・ポートアイロ(テノール)、ソフィア・フォミナ(ソプラノ)、アリソン・ローズ(ソプラノ)、ビヨルン・ビュルガー(バリトン)、カロリーネ・ヴェッテグレン(ソプラノ)、エステル・ディールケス(ソプラノ)、マルタ・フォンタナルス=シモンズ(メゾソプラノ)、カタリーナ・マギエラ(メゾソプラノ)、イエルク・シュナイダー(テノール)、ミヒヤエル・クラウス(バリトン)、Brindley Sherratt(バス)、フレディ・ジェミソン(ボーカリスト)、アマン・デ・シルヴァ(ボーカリスト)、ステファン・ジャーコノフ(ボーカリスト)、マーティン・スネル(バス)、トーマス・アトキンス(テノール)

演奏:

エイジ・オブ・インライトウメント管弦楽団、グラインドボーン歌劇場合唱団

指揮:

ライアン・ウィグルワース

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト 歌劇 《魔笛》



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッキング電源からのノイズの低減を図っています。さらに今回もスイッキングハブ→PC 間 LAN 接続には OPT ISO BOX に代って適用した LAN iPurifier Pro の電源を iPower2 に交換しています。今回は、PC の受信から Sonica DAC に送り出して再生しています。お馴染みのオペラで、鳥刺しや夜の女王のアリアなど、聴かせどころがあります。ステージは、コミカルな構成の筋書きで、仕掛けや効果音もあって、テンポよく進行します。ソリストの演技も歌唱も個性的で楽しめ、2019 年の収録で音質もよく、ステージ感がリアルに再現されており、とろわけ夜の女王のアリアなどは迫力満点です。





同じプログラムが、2019年放映のNHKのクラシック音楽館の放送録画で残っていましたので、これも試聴してみましたが、音質的にはSTAGE+のアーカイブ配信に及びませんでした。

#### 4.まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、オペラ魔笛の個性あふれるソリストの歌唱が表現されていました。

以上